

PROSOUND

サウンド・プロフェッショナルのための音響技術専門誌

12

2022
December

PROSOUND的“設備”検分録
パルテノン多摩

PROSOUND SPECIAL
avexR studio

PROSOUND FEATURE
IK Multimedia
iLoud Precision

FILM SOUND PRODUCTION
東京2020オリンピック
公式映画の音響制作



PROSOUND SPECIAL

サウンド・シティ tutumu

Dolby Atmos / 360 RA対応のイマーシブ・スタジオが都心に誕生

Saidera Paradiso

Vol.
123

Life is a Recording
by Seigen Ono

渋谷公園通り BODY & SOUL

初来日Aubrey Johnson

& Randy Ingramライブ



オーブリー・ジョンソン(vo) ランディ・イングラム(pf) デュオ from NY。オーブリーは叔父ライル・メイズのアルバム「エバーハルト」等、グラミー賞受賞アルバムに参加し、いまNYでは知らない者がいない実力派シンガー。各地の公演での投稿サイトでも超美人のうえ、彼女の歌に感動して涙する人が多いと絶賛の嵐であった。10月23日が新作「Play Favorites」リリース初来日ツアーの最終日。



SINCE 1974、BODY & SOUL、南青山では僕も何度かライブレコーディングでお世話になりました。昨年10月から渋谷公園通りに移転オープン、NHKからもすぐ近くです。

関 京子オーナーの言葉を借りると、「ニューノーマルはウィズ・ジャズ!! 活動拡大と感染抑制の両輪でライブジャズ文化の復活に向け頑張ります。ゆったりしたお席（南青山店のほぼ倍）と換気の効いた“ウィズコロナ仕様”でライブジャズをお楽しみいただけるお店です。やっと海外のミュージシャンが来日できるようになりましたが、今度は超円安です。プロモーターも出演料はドル建てで支払う上に、飛行機代も高くなり、なかなか大変な事になっています。逆に海外旅行は、もう簡単に行けそうもありませんね」

平日朝10時半から夕方16時までは「Jazz Saloon and Cafe」、新しい概念の「令和のジャズ喫茶」です。高品質の

生豆から焙煎した「珈琲専門店のスペシャルコーヒー」を味わっていただき、ランチタイムには独自の焼き立てパンをメインに和洋のグルメランチを提供します。ジャズとコーヒーを楽しみながら、ジャズ入門者からコアなジャズファンまで、名盤談義・ジャズ談義がお楽しみいただけます。夜は18:30開店、19:00スタート「Jazz Club BODY & SOUL」です。

老舗ジャズクラブで、ステージと客席がまさに一体となり本当に目の前で聴けるジャズだから、一流プロも絶賛の音の良さ。裏返すと演奏も音もまったく誤魔化しは効きません。ジャズに限らず音楽の本来の姿です。阿部さん、店長・音響担当として気をつけていることは? 「アコースティックな編成が多いのでなるべく生音のまま、バランス良く聴こえるよう心がけています」

DAWと修正を前提としたレコーディングばかりしてはいけません。すぐ



京子ママと「BODY & SOUL」オーナー関 京子 Kyoko Seki。1941年、東京・中野区生まれ。幼い頃から踊りが好きで、松竹音楽舞踊学校（松竹歌劇団/SKDの養成学校）に入学、13期生で同期に倍賞千恵子がいる。すぐジャズの魅力に取り憑かれ、ジャズ喫茶通いが昂じて、卒業後の1965年、新宿・歌舞伎町にジャズクラブ「タロー」を開店。1974年「BODY & SOUL」となり、六本木、北青山を経て1992年に南青山、2021年、現在の渋谷公園通りに移転。57年以上をジャズクラブのオーナーとして毎夜ジャズライブを聴いて過ごし、内外ミュージシャンとの幅広い親交を築きながら今に至る。単行本「身も心もジャズ」は自伝的エッセイ。海外、日本のJAZZ演奏家と記憶に残るエピソードとお店の歴史。JAZZの貴重な生きた歴史である。

いトラック数の編集やプラグインに頼ってるエンジニア、ミュージシャンは自分の感性のキャリブレーションのためにも、公園通りのBODY & SOULに通いましょう。

僕は86年の「The Manhattan Transfer / Live」(Atlantic) 録音をした際に、リーダーの故ティム・ハウザーさんから2本のSM81を譲り受けました。彼ら4人のマイクはまったく同じセッティングで、もし途中でマイクが入れ替わってもミキシングのバランスなど何の問題もないのです。エンジニアがバランスをとるのではなく、ハンドマイクの距離も含めてボーカルグループ自身が普段のリハーサルからアカペラでバランスが取れていることが基本なのです。FB友だち音楽監督Yaron GershovskyとAubrey Johnsonのヴォイス多重録音も素晴らしい！クラシック・バックグラウンドの完璧な音程と、ヴォイスコントロールは、BODY & SOULのライブでもまるで大きな劇場を思い起こさせます。

「NYCではもう数年前から誰もが絶賛する存在だったオーブリー・ジョンソン。武蔵野スイングホールで初めて観たライブでのその巧さはアルバム

の倍音のような魅力として迫ってきた。アーティキュレーションの心地よさと確かな声量、そして声楽をマスターしたことが肯けるチャームポイントである高音部の歌い方は自身の持ち味をサ



左からオノ、ランディ・イングラム (pf)、オーブリー・ジョンソン (vo)、川上浩平氏 (オフィス・ズー)



ピアノはSM57×2、Roland M-200i Live Mixing Consoleに、メインはMeyer sound UPA-1B、転がしはElectro-Voice。ほとんど生音でもっともシンプルなセッティング

ウンドにうまく反映させていた。その声の存在感に対してランディ・イングラムは空間を埋めていくというよりは、抜群の距離感でオーブリーと並走していくところにセンスの良さを感じた。

安易なクリシェとなりがちな「Jazz実力派」という言葉はこういう時に使いたい」コアポート 高木洋司
<http://www.coreport.jp/>



オーブリー・ジョンソン本人がツアーで持ち歩いているのは、Sennheiser e 845



デイトタイム「ジャズ・珈琲・ランチ」10:30 - 16:00も大好評。アナログレコード・プレーヤー、CDプレーヤー、PAとは全く別回線のMark Levinson No.38SL Pre/Control AmplifierとNo.27L Stereo Power Amplifier。ステージ上のJBLはPAでは使用しない。夜はライブ18:30-23:00